

夢と希望がかなう 元気大津



第6次 大津町振興総合計画

基本構想 (平成30年度～平成37年度)・前期基本計画 (平成30年度～平成33年度)
2018～2025)・2018～2021)

概要版

第6次大津町振興総合計画 基本構想・前期基本計画

■ 大津町振興総合計画とは？

● 振興総合計画ってなに？

大津町をどのような「まち」にしていくのか、またそのためにどのような事をしていくのかをまとめた、町の最上位の計画です。産業、福祉、教育、都市計画、環境といったすべての計画の基本となる羅針盤としての役割を持っています。

● どのような事が書かれているの？

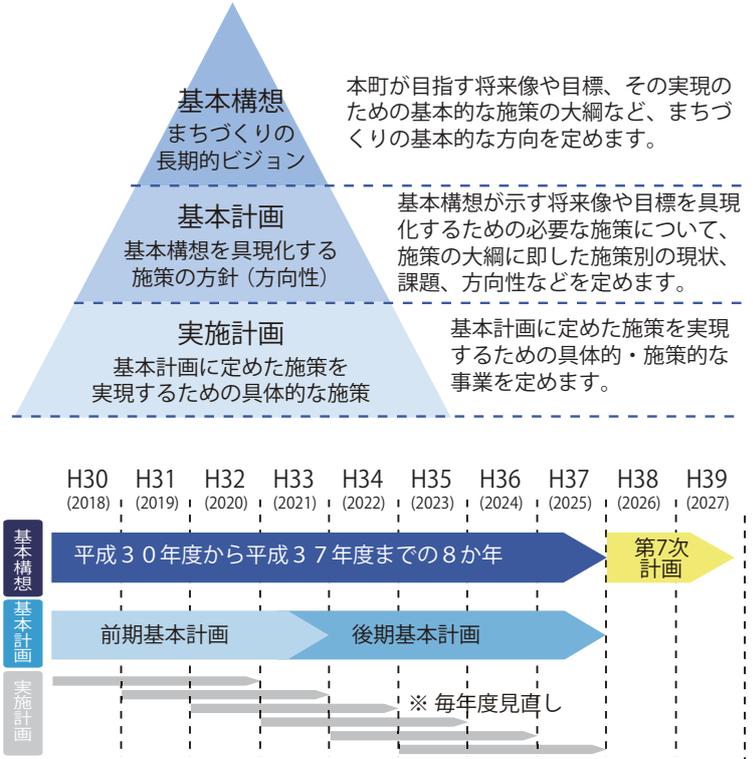
大きくは「基本構想」と「基本計画」により構成されています。「基本構想」では、本町が目指す将来像や目標など、まちづくりの基本的な方向を定め、「基本計画」では、「基本構想」を実現化するため必要な取り組みについて、産業、福祉等の各分野毎に現状や課題、方向性を定めます。

● 何年後の大津町を考えるの？

計画期間は、平成30年度から平成37年度までの8年間で、「基本計画」については、計画期間を前期4年間と後期4年間に分けます。



大津町振興総合計画とは、大津町の8年後の姿や、そのための取り組みを示す、まちづくりの羅針盤となる計画です！！



■ 大津町の課題

本町の人口は、平成57年（2045年）までは、増加傾向と予想されていますが、少子化、高齢化は徐々に進んでいます。このため、将来訪れる人口減少による生活サービスの低下、税収減による行政サービスの低下、地域コミュニティの衰退による影響を抑えるため、今から対策を進める必要があります。



若い人が住みたい、住み続けたいと感じるまちづくりが必要だね！子どもを産み・育てやすい取り組みも重要と考えるよ。



人口減少が早く進む地域もあるね。中部地域、南部地域、北部地域、それぞれの特性を生かしながら、住みよい地域づくりが必要だね。

● 人口構造の変化に向けた対応



高齢化がどんどん進んでいて、社会保障費の増加も予想されるよ。今後、みんなの健康寿命を延ばしたり、誰もが安心して暮らせる地域づくりが重要と考えるよ。

● 地域格差の進行

● 高齢化社会への対応

● 財政運営の見直し



これまで整備を進めてきた道路、公園等のインフラや公共の建物が一斉に更新時期を迎えるみたいだね。更に、熊本地震からの復旧・復興に向けた費用も継続的に必要で、選択と集中の観点から、持続可能な財政運営が必要となるね。

● 産業の活性化

● 安全・安心なまちづくり

● 環境にやさしいまちづくり



大津町の製造品出荷額の県内順位は2015年で第5位！これまでの企業誘致の取り組みの効果が出ているね。一方で農業等で働く人の高齢化が進み後継者不足等の問題も発生しているね。今後は、従来の取り組みに加え、本町の特性を活かした着地型観光の取り組みが重要となるね。

大津町の将来ビジョン

夢と希望がかなう 元気大津

～夢と希望がかなう～

将来を担う子どもたちや若者をはじめ働く人の夢や希望がかなうまちづくりを進めます。

～元気大津～

「人」「地域」が輝き、つながりながら、大津町の元気を創るまちづくりを進めます。

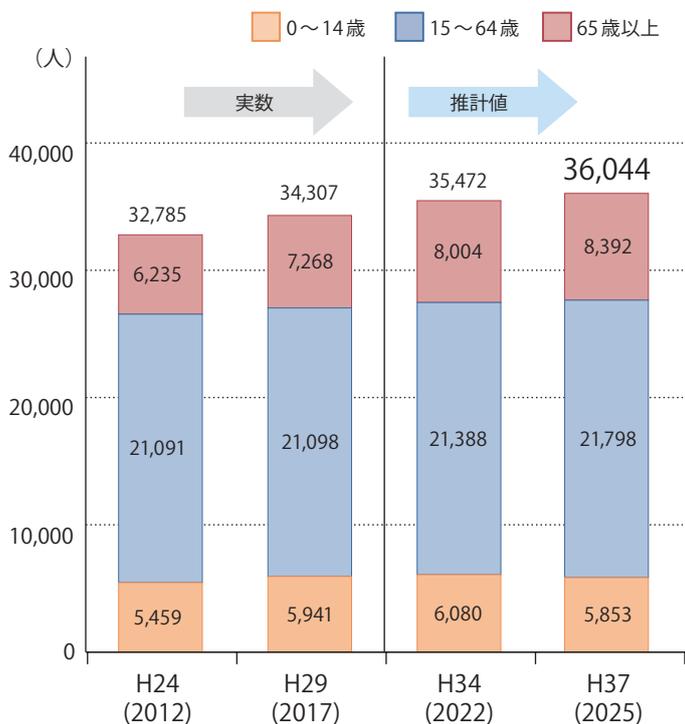


大津町の将来ビジョンの達成に向けて、どのようなテーマ（姿勢）で各分野の施策に取り組んでいくのか、その方向性を示す取り組み姿勢（テーマ）

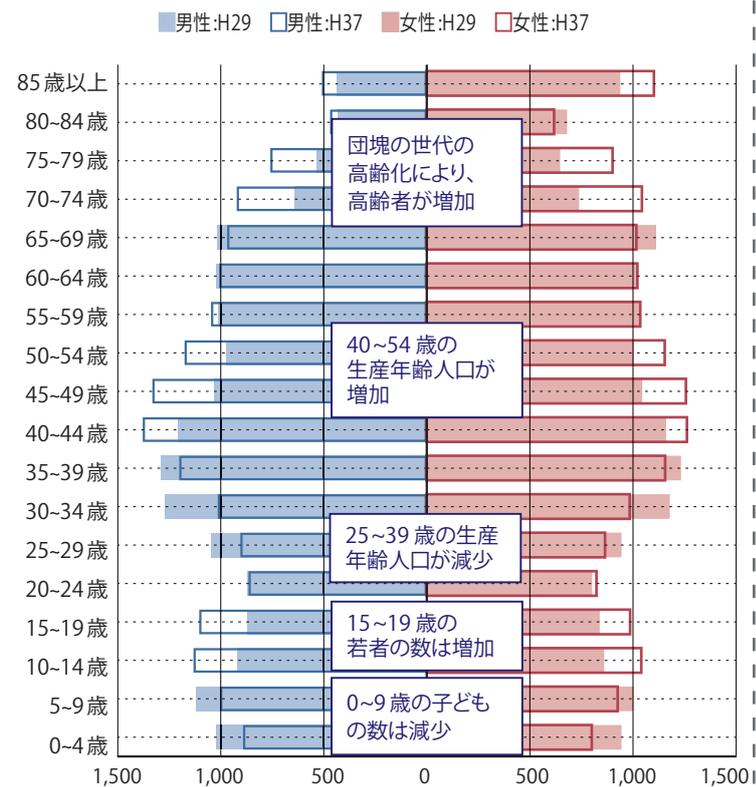
“守ろう” “磨こう” “創ろう”
未来へつなぐ大津の宝

将来人口

本計画では目標年次（平成37年）の将来人口を **約36,000人** と予測しています。



人口ピラミッド (H29とH37の5歳階級別の人口構成の比較)



【将来ビジョン】

夢と希望がかなう 元気大津

町民参加と持続可能なまち

各分野
共通

基本構想
(8年間)

施策の大綱

1. 産業

ひと・もの・情報が行き交う
農工商併進のまち

2. 福祉・保健

笑顔でつなぐ
元気で健やかなまち

3. 教育・文化

ふるさとを愛し、
未来に夢が膨らむまち

基本
施策
の
体系

1. 農業の振興

持続的な営農体制の構築と
農業を活かした地域づくり

1. 農業生産基盤の整備
2. 農業の発展と魅力ある農業を創造する多様なひと・仕組みづくり
3. 地域に適した生産の振興と流通の促進
4. 農地の保全と有効活用

2. 林業の振興

森林の多面的機能の活用と
適切な維持管理

1. 林業基盤の整備と適正な維持管理

3. 工業の振興

地域に根差す企業の振興

1. 企業誘致の推進
2. 工業基盤の整備
3. 雇用の促進

4. 商業の振興

まちの賑わいと活力の創出

1. 中心市街地の活性化と商業・業務機能の集積

5. 観光の振興

地域特性(自然・宿場町)を
活かした観光・交流の促進

1. 観光資源の創出
2. 滞在型・体験型観光の振興
3. スポーツコンベンションの推進

1. 地域福祉・障がい福祉の推進

みんなが笑顔の福祉のまちづくり

1. 地域福祉の充実
2. 障がい福祉の推進

2. 子ども・子育て支援

安心して出産・子育てができる
環境づくり

1. 保育環境の充実
2. 子育て支援の充実
3. 子どもを安心して生み育てられる地域づくり

3. 高齢者福祉の充実

高齢者が生きがいをもって、
健康で安心して暮らせる環境づくり

1. 高齢者が活躍する場の充実
2. 高齢者福祉サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築
3. 介護保険制度の円滑な運営

4. 健康・医療の充実

町民の健康づくりと地域医療との
連携拡充

1. 町民の健康づくり(予防・健康管理の充実)
2. 町民の健康づくり(健康づくりの推進)
3. 地域医療との連携拡充
4. 健康保険制度の円滑な運営

1. 家庭教育への支援

教育の基盤となる生活環境の実現

1. 基本的な生活習慣の形成・確立
2. 親力・家庭教育力の向上
3. 貧困の連鎖を断ち切るための教育機会の保障
4. 熊本地震からの創造的復旧・復興

2. 学校教育の充実

生きる力を育み信頼される
学校・園づくり

1. 幼児教育(就学前教育)の充実と学校教育との連携強化
2. 確かな学力の育成
3. 豊かな心・人間性の育成
4. 体育・健康教育・食育の推進
5. 社会を生きる力の育成
6. 教育環境の整備・充実
7. 熊本地震からの創造的復旧・復興

3. 生涯学習の推進

学びを通じた人づくり、
地域づくりの推進

1. 生涯学習の充実
2. 生涯学習環境の整備
3. 文化の保全・振興
4. 文化財の保護
5. スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進
6. スポーツ環境となる基盤の整備
7. 熊本地震からの創造的復旧・復興

重点戦略

将来ビジョンの実現に向けて重点化を図る施策

1. 人材育成と人材確保

2. 企業誘致と雇用の促進

【取組み姿勢】

「守ろう」大津の宝

「磨こう」大津の宝

「創ろう」大津の宝

～みんなでつくる大津町～

4. 生活環境基盤

町の活力(にぎわい)を支える
機能性の高いまち

1. 土地利用政策の推進

機能性の高い都市空間の形成

1. 計画的な土地利用の推進
2. 中心市街地(新庁舎周辺)の活性化
3. 南部・北部まちづくり計画の推進
4. 新たな活力拠点の創出

2. 都市基盤づくり

快適な生活を支える都市基盤づくり

1. 効率的・効果的な都市基盤の維持・整備
2. 身近な公園・緑地の整備
3. 良質な住環境の確保
4. 熊本地震からの創造的復旧・復興

3. 下水道・工業用水道の整備

快適な生活を支える都市基盤づくり

1. 下水道の整備
2. 工業用水道の安定供給

4. 交通環境の充実

まちなぎわいを支える交通環境の充実

1. 総合的な道路網の形成
2. 安全・安心な生活道路の形成
3. 効率的・効果的な都市基盤の維持・整備(再掲)
4. 公共交通体系の整備

5. 環境にやさしいまちづくり

持続可能な社会の構築

1. 潤い豊かな水と緑の保全
2. 循環型社会の形成
3. 生活環境の向上(公害の防止と環境保全の促進)
4. 温暖化対策の推進

6. 生活安全性の向上

安全・安心な地域づくり

1. 地域防犯対策の強化
2. 交通安全対策の推進
3. 消費生活の安全強化

5. 町政運営

“つながり”と“安心”の
持てるまち

1. 参加の場づくり

人がつながる 人が見えるまち

1. 町民と行政の情報共有化
2. 地域コミュニティの活性化

2. 行政運営

健全な町政運営と持続可能なまち

1. 効率的で健全な行財政の運営
2. 人材育成の推進
3. 情報化の推進・情報基盤の強化
4. 多角的な連携・交流の推進
5. 熊本地震からの創造的復旧・復興

3. 防災力の向上

総合的な防災力と地域防災力の向上

1. 危機管理体制の充実
2. 災害への対応力強化
3. 災害に強い都市構造
4. 消防・救急の推進
5. 地域防災力の向上

4. 人権を尊重する地域社会の形成

一人一人の個性と能力を発揮できる
社会の形成

1. 人権が尊重される地域づくり
2. 男女共同参画の促進

各分野
連携

6. 復旧・復興

住民生活の再建・再生と
災害に強いまち

1. 住民生活・暮らしの再建

(大津町復旧・復興計画と連動)

1. 住宅の確保
2. 地域コミュニティの維持・再生

2. 社会基盤の復旧・経済の再生

(大津町復旧・復興計画と連動)

1. 社会生活基盤の復旧
2. 保健・医療・福祉・教育の復旧・充実
3. 産業基盤の再生
4. 交流・地域拠点の形成

3. 命を守る・災害に強いまちづくり

(大津町復旧・復興計画と連動)

1. 災害対応の基盤づくり
2. 教訓を活かした発災時の対応づくり

3. 観光産業の推進

4. 子育て支援と介護の
充実・健康推進

5. 自己活動を助け、地域力を育み、
協働の力を促進

1 産業

ひと・もの・情報が行き交う 農工商併進のまち

1. 農業の振興

～持続的な営農体制の構築と
農業を活かした地域づくり～

- 農業生産基盤の整備
- 農業の発展と魅力ある農業を創造する
多様なひと・仕組みづくり
- 地域に適した生産の振興と流通の促進
- 農地の保全と有効活用

営農を支える人、生産性向上を示す指標

- ・ 農業の中心となる経営体数 (164)→170 (経営体)
- ・ 農地集積面積 (670)・・・→700 (ha)



3. 工業の振興

～地域に根差す企業の振興～

- 企業誘致の推進
- 工業基盤の整備
- 雇用の促進

本町の雇用維持・拡大を示す指標

- ・ 製造業の従業員数 (6,722)→7,000 (人)
- ・ 立地協定の締結件数 (2)→2 (件/年)



2. 林業の振興

～森林の多面的機能の活用と
適切な維持管理～

- 林業基盤の整備と適正な維持管理

林業の活性化を示す指標

- ・ 町有林市場出荷量 (792)→900 (m³/年)
- ・ 私有林市場出荷量 (572)→700 (m³/年)



4. 商業の振興

～まちの賑わいと活力の創出～

- 中心市街地の活性化と
商業・業務機能の集積

商業の賑わいを示す指標

- ・ 年間商品販売額 (81,765)→85,000 (百万円)



5. 観光の振興

～地域特性 (自然・宿場町) を活かした
観光・交流の促進～

- 観光資源の創出
- 滞在型・体験型観光の振興
- スポーツコンベンションの推進

新たな観光振興の高まりを示す指標

- ・ 観光入込客数 (1,606,739) →1,671,000 (人/年)
- ・ 宿泊客数 (276,452) →287,000 (人/年)
- ・ 外国人宿泊者数 (10,487) →10,900 (人/年)

笑顔でつなぐ 元気ですこやかなまち

1. 地域福祉・障がい福祉の推進 ～みんなが笑顔の福祉のまちづくり～

- 地域福祉の充実
- 障がい福祉の推進

地域福祉の充実及び障がい福祉の推進を示す指標

- ・小地域福祉活動推進地区数 (14)→27 (カ所)
- ・災害時避難行動要支援者個別支援計画策定数 (1,810)→2,200 (人)
- ・障がい者の一般就労移行者数 (3)→5 (人/年)

3. 高齢者福祉の充実 ～高齢者が生きがいをもって、健康で安心して暮らせる環境づくり～

- 高齢者が活躍する場の充実 (生きがいづくり)
- 高齢者福祉サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築
- 介護保険制度の円滑な運営

高齢者が生き生きと地域で暮らす環境を示す指標

- ・要介護認定率 (要介護認定者数 / 高齢者数) (17.9)→18.3 (%)
- ・「通いの場」の実施数 (3)→36 (カ所)
- ・認知症サポーター養成講座受講者の総人口に占める割合 (講座受講者数 / 町の人口) (15.6)→20.0 (%)



2. 子ども・子育て支援 ～安心して出産・子育てができる環境づくり～

- 保育環境の充実
- 子育て支援の充実
- 子どもを安心して生み育てられる地域づくり

子育てしやすい地域環境を示す指標

- ・保育所待機児童数 (61)→0 (人)
- ・放課後児童クラブ待機児童数 (20)→0 (人)



4. 健康・医療の充実 ～町民の健康づくりと地域医療との連携拡充～

- 町民の健康づくり (予防・健康管理の充実)
- 町民の健康づくり (健康づくりの推進)
- 地域医療との連携拡充
- 健康保険制度の円滑な運営

町民の健康づくりを示す指標

- ・特定健診受診率 (特定健診受診者数 / 国保被保険者数 (40歳以上)) (37.4)→55.0 (%)
- ・各種がん検診受診率 (各がん検診受診者数 / 各がん検診対象者数) (43.0)→各 50.0 (%)

3 教育・文化

ふるさとを愛し、 未来に夢が膨らむまち

1. 家庭教育への支援 ～教育の基盤となる生活環境の実現～

- 基本的な生活習慣の形成・確立
- 親力・家庭教育力の向上
- 貧困の連鎖を断ち切るための教育機会の保障
- 熊本地震からの創造的復旧・復興

教育の基盤となる家庭教育の充実を示す指標

- ・「育ちのステップ」の周知度
(知っていると回答した人数 / アンケート回答数)
(13.5)→50.0 (%)
- ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことをきちんと守っている中学3年生の割合
(きちんと守っていると回答した生徒数 / 中学3年生の生徒数) (13.5)→20.0 (%)

3. 生涯学習の推進 ～学びを通じた人づくり、地域づくりの推進～

- 生涯学習の充実
- 生涯学習環境の整備
- 文化の保全・振興
- 文化財の保護
- スポーツを「する」「みる」「ささえる」
スポーツの推進
- スポーツ環境となる基盤の整備
- 熊本地震からの創造的復旧・復興

地域で学び、人や地域の魅力が育つ環境を示す指標

- ・主催講座(教室)開催数(生涯学習係、歴史文化伝承館、公民館、図書館)
(84)→115(回)
- ・主催講座(教室)参加者数(生涯学習係、歴史文化伝承館、公民館、図書館)
(1,173)→1,400(人)
- ・町民のスポーツ実施率
(1週間に1回30分以上の運動をした20歳以上の町民数 / 20歳以上の町民数)
(50.0)→65.0 (%)
- ・スポーツ施設の稼働率
(施設利用日数 / 開館日数) (60.0)→70.0 (%)
- ・図書館で本を借りた住民の割合
(1年に1回以上本を借りた住民の数 / 町の人口) (17)→25 (%)
- ・図書館貸出冊数 (24)→28(万冊)

2. 学校教育の充実 ～生きる力を育み信頼される学校・園づくり～

- 幼児教育(就学前教育)の充実と学校教育との連携強化
- 確かな学力の育成
- 豊かな心・人間性の育成
- 体育・健康教育・食育の推進
- 社会を生きる力の育成
- 教育環境の整備・充実
- 熊本地震からの創造的復旧・復興

子ども達自らが生きる力を育める教育環境の実現を示す指標

- ・インターンシップ受入企業数
(70)→100(カ所)
- ・標準学力検査平均値(小学校)
(54.8)→55.0(点)
- ・標準学力検査平均値(中学校)
(51.6)→53.0(点)
- ・中学3年で英検3級以上を取得または相当する力を持つ生徒の割合
(英検3級以上を取得または相当の英語力を持つと思われる生徒数 / 中学3年生の生徒数)
(36.7)→40.0 (%)
- ・不登校児童生徒の出現率
(不登校児童生徒数 / 全児童生徒数)
(1.23)→1.00 (%)



町の活力(にぎわい)を支える 機能性の高いまち

1. 土地利用政策の推進

～機能性の高い都市空間の形成～

- 計画的な土地利用の推進
- 中心市街地(新庁舎周辺)の活性化
- 南部・北部まちづくり計画の推進
- 新たな活力拠点の創出

計画的な土地利用の実現を示す指標

- ・用途地域指定区域内の開発面積割合
(用途区域のうち宅地面積 / 用途地域全体面積)
(57.3)→58.9 (%)



2. 都市基盤づくり

～快適な生活を支える都市基盤づくり～

- 効率的・効果的な都市基盤の維持・整備
- 身近な公園・緑地の整備
- 良質な住環境の確保
- 熊本地震からの創造的復旧・復興

快適な生活環境と効率的・効果的な都市基盤整備の実現を示す指標

- ・公園に対する満足度
(満足傾向回答数 / アンケート回答数)
(34.4)→40.0 (%)
- ・公営住宅長寿命化計画進捗率
(大規模改修の戸数 / 公営住宅戸数)
(14.8)→29.5 (%)

3. 下水道・工業用水道の整備

～快適な生活を支える都市基盤づくり～

- 下水道の整備
- 工業用水道の安定供給

快適な生活の形成や豊かな自然環境(水環境)の保全の達成を示す指標

- ・公共下水道事業の水洗化率(水洗化人口 / 整備済人口)
(95)→95 (%)
- ・農業集落排水事業の水洗化率(水洗化人口 / 整備済人口)
(81)→85 (%)

4. 交通環境の充実

～まちのにぎわいを支える交通環境の充実～

- 総合的な道路網の形成
- 安全・安心な生活道路の形成
- 効率的・効果的な都市基盤の維持・整備(再掲)
- 公共交通体系の整備

まちのにぎわいを支える交通環境の実現を示す指標

- ・橋梁長寿命化修繕計画(点検)(30)→30(橋数/年)
- ・橋梁長寿命化修繕計画(補修)(3)→3(橋数/年)
- ・道路改良及び舗装の補修等(20)→20(路線数/年)
- ・公共交通に関する満足度
(満足傾向回答数 / アンケート回答数)(40.4)→50.0 (%)

5. 環境にやさしいまちづくり

～持続可能な社会の構築～

- 潤い豊かな水と緑の保全
- 循環型社会の形成
- 生活環境の向上
(公害の防止と環境保全の促進)
- 温暖化対策の推進

環境にやさしいまちづくりの実現達成を示す指標

- ・町民一人当たりのごみ排出量
(193.4)→191.4(kg/年)
- ・リサイクル率(資源化量 / ごみ回収量)
(11.5)→13.5 (%)

6. 生活安全性の向上

～安全・安心な地域づくり～

- 地域防犯対策の強化
- 交通安全対策の推進
- 消費生活の安全強化

安全・安心な地域づくりの実現を示す指標

- ・町犯罪発生件数
(44)→40(件)
- ・町交通事故発生件数
(132)→120(件)



“つながり”と“安心”の 持てるまち

1. 参加の場づくり

～人がつながる 人が見えるまち～

- 町民と行政の情報共有化
- 地域コミュニティの活性化

町民主体の地域づくりの達成を示す指標

- ・町の取り組みに対する満足度（町民との協働）
(満足傾向回答数 / アンケート回答数)
(11.7)→20.0 (%)
- ・町の取り組みに対する満足度
(地域コミュニティの充実) (満足傾向回答数 / アンケート回答数) (10.3)→20.0 (%)
- ・地域づくり活動支援事業実施団体数
(28)→34 (団体数)



3. 防災力の向上

～総合的な防災力と地域防災力の向上～

- 危機管理体制の充実
- 災害への対応力強化
- 災害に強い都市構造
- 消防・救急の推進
- 地域防災力の向上

地域防災力の向上を示す指標

- ・自主防災組織 組織率
(組織した行政区の世帯数 / 町内全世帯数)
(83.0)→90.0 (%)



2. 行政運営

～健全な町政運営と持続可能なまち～

- 効率的で健全な行財政の運営
- 人材育成の推進
- 情報化の推進・情報基盤の強化
- 多角的な連携・交流の推進
- 熊本地震からの創造的復旧・復興

効率的な行政運営の実現を示す指標

- ・町税の徴収率（現年度分）(収納額 / 課税総額)
(99.05)→99.1 (%)
- ・実質公債費率
(借入金の返済額等 / 町の標準的な収入等)
(11.0)→14.5 (%)



4. 人権を尊重する地域社会の形成

～一人一人の個性と能力を發揮できる社会の形成～

- 人権が尊重される地域づくり
- 男女共同参画の促進

人権尊重のまちづくり・男女共同参画社会の推進を示す指標

- ・一人ひとりの人権が尊重されていると感じる
町民の割合
(尊重されていると感じる回答数 / アンケート回答数)
(新規指標)→80.0 (%)
- ・各種会議等の女性登用率
(女性登用数 / 各種会議等の構成員数)
(24.0)→30.0 (%)

住民生活の再建・再生と 災害に強いまち

1. 住民生活・暮らしの再建 (大津町復旧・復興計画と連動)

- 住宅の確保
- 地域コミュニティの維持・再生



2. 社会基盤の復旧・経済の再生 (大津町復旧・復興計画と連動)

- 社会生活基盤の復旧
- 保健・医療・福祉・教育の復旧・充実
- 産業基盤の再生
- 交流・地域拠点の形成



3. 命を守る・災害に強いまちづくり (大津町復旧・復興計画と連動)

- 災害対応の基盤づくり
- 教訓を活かした発災時の対応づくり

被災状況



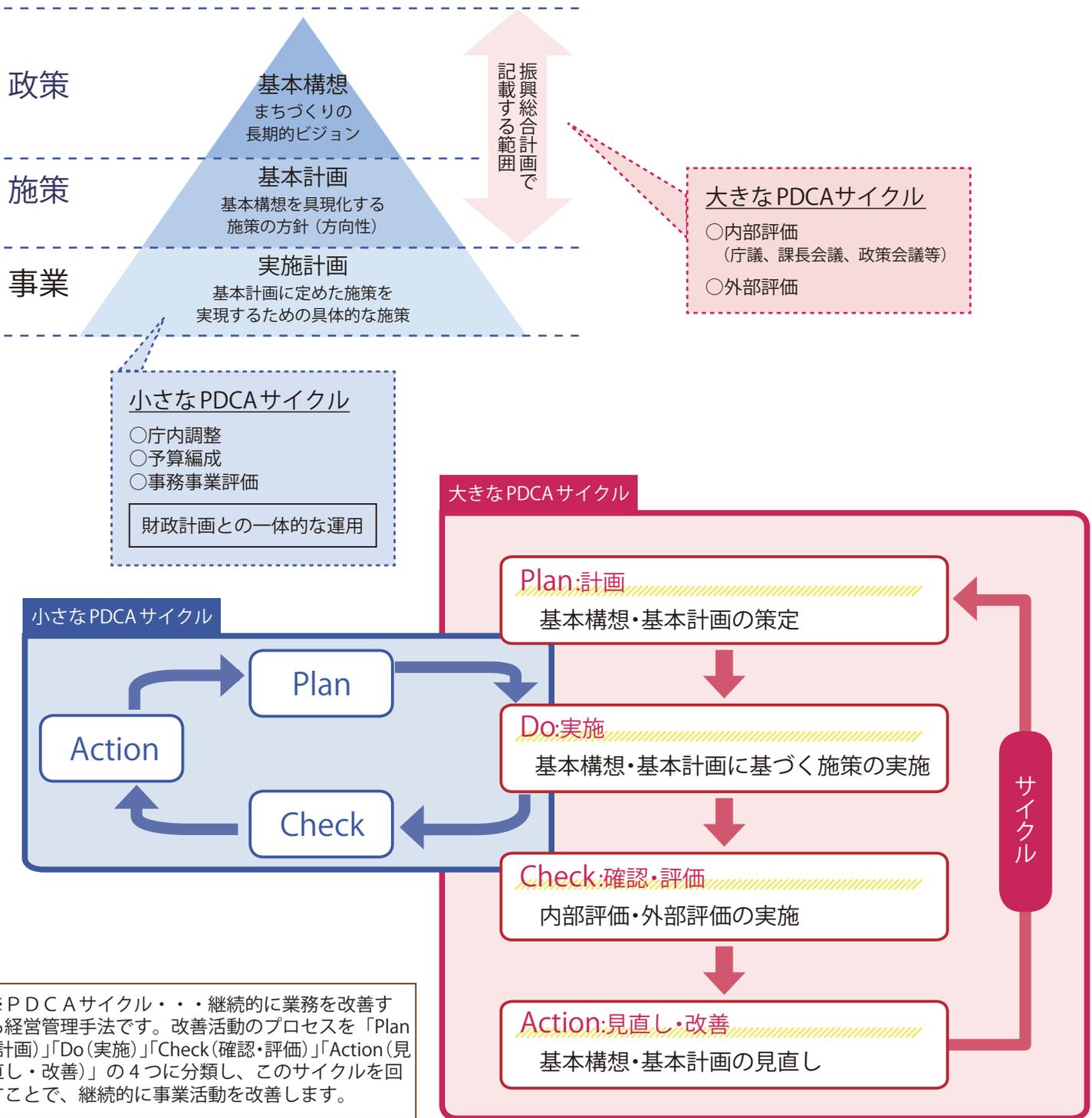
対策事業実施後



■計画の進行管理と評価体制

本計画の実現に向けては、基本計画に位置づけた「施策の体系（柱）」を基に構成する個別事業（実施計画）により、達成を目指します。その、進行管理については、内部評価と外部評価にて計画全体の評価を実施する他、庁内調整、事務事業評価等により個別事業の評価を実施します。

「大きなPDCAサイクル」と、毎年の事務事業評価等を中心とした「小さなPDCAサイクル」を組み合わせることで、計画の達成に向けた計画的な実施・改善を進めます。



第6次大津町振興総合計画 ～夢と希望がかなく 元気大津～

発行：平成30年3月
企画・編集：大津町役場 総務部 総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL：096-293-3118 FAX：096-293-4836